

日本更生保護学会第10回大会

日本更生保護学会第10回大会を早稲田大学早稲田キャンパスで開催する予定です。今般の新型コロナウイルスの感染状況が流動的な中での実施計画です。したがって今後、状況によりリモートなど開催方法を変更する場合があることも御承知おき下さい。

- *開催日：令和3年12月4日(土)・5日(日)
- *主催：日本更生保護学会
- *共催：早稲田大学社会安全政策研究所(WIPSS)
- *後援：法務省、日本更生保護協会、全国保護司連盟、全国更生保護法人連盟、全国就労支援事業者機構、日本更生保護女性連盟、日本BBS連盟、日本刑事政策研究会、早稲田大学総合研究機構

◇プログラム◇

12月4日(土)

- ◎受付 12:30
- ◎総会 13:00~14:00
- ◎会長挨拶 14:15~
- ◎来賓挨拶 14:20~
- ◎学会企画シンポジウム 14:30~18:00
- 1 基調講演 14:30~15:30
「まちのみんなで“おかえりなさい”
～全国初の明石市更生支援等条例～」
明石市長 泉 房穂
- 2 シンポジウム 15:45~18:00
「犯罪者の更生支援における国の役割と地方公共団体の役割」(仮題)
【シンポジスト】
 - ・石川 正興 (早稲田大学名誉教授)(司会)
 - ・泉 房穂 (明石市長)
 - ・堂本 暁子 (元千葉県知事)
 - ・早淵 宏毅 (法務省大臣官房秘書課企画再犯防止推進室長)【コーディネーター】
 - ・小西 暁和 (早稲田大学教授)

12月5日(日)

- ◎セッション及び自由報告 9:30~12:30
- 1 保護観察におけるアセスメントの展開
- 2 保護司活動のICT化
- 3 地域における処遇やネットワークの展開
- 4 対象者の(本音の)語りを大切にした支援と社会復帰
- 5 非行少年支援へのボランティアな関わりに求められるものとは
- 6 自由報告
- ◎ 更生保護学研修会 13:30~17:00

◇申込方法：学会HP掲載の大会参加申込を10月31日(日)までに日本更生保護学会ホームページから申込ください。郵送・FAX等での受付は行いません。受付後、順次、参加費振込が確認され次第申込のアドレスに参加についてのお知らせをします。
※本大会は会員のみ参加できます。一般参加はできませんので、御承知置ください。
※申込により当学会が取得した個人情報については大会運営以外での利用はいたしません。

◇参加費：2,000円。(本年は、交流会は開催しません。)同封の振込票で年会費と共に入金下さい。
(問い合わせ先) 日本更生保護学会事務局

E-mail: taikai.gakkai@kouseihogo-net.jp

電話:03-3356-5721

日本更生保護学会第10回大会

自由研究発表の募集

自由研究発表を募ります。更生保護に関連する事項なら何でも歓迎いたします。

1 申込方法

次の事項を記載した文書をメールの添付ファイルとして、学会実行委員会にお送りください。締め切りは、令和3年10月15日(金)とします。

学会実行委員会 kouseihogogakkai10th@gmail.com

(日本更生保護学会第10回大会事務局)

- (1) メールの件名は「日本更生保護学会自由研究報告申込」とすること
- (2) 報告者氏名、所属等、連絡先（郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）
- (3) 自由研究報告の題目
- (4) 報告の概要（200字程度）

2 その他

- (1) グループの場合や共同研究者がいる場合は、全員の氏名・所属を記載の上、当日報告される方の氏名の前に「○」をつけてください。申込者、報告者は、会員に限ります。共同研究者は、会員でなくても構いませんが、当日の報告はできません。
- (2) 報告時間は、1件30分以内（報告時間:20分程度、質疑応答:10分程度）。ただし、報告件数が多い場合、質疑応答の時間が短縮される場合があります。
- (3) 1件の申し込みにつき1つの報告となります。共同研究者がいる場合でも、1報告の報告時間は変わりません。
- (4) 会員1名につき申し込み件数及び報告件数は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。
- (5) 申し込み件数が多数の場合、大会校において選考する場合があります。
- (6) 報告が決まった場合、原則として、提出された「報告概要」が大会プログラムに掲載されます。
- (7) 申し込みを受理致しましたら、折り返しご連絡いたします。もし、返信が無い場合、念のため確認のご連絡を下さいますようお願いいたします。